

平成21年度第1回宮崎県放課後子どもプラン推進委員会議事録

1 開催日時：平成21年5月27日（水）13時30分から16時00分まで

2 会 場：宮崎市立学園木花台小学校
（図書室）



3 出席者：委員12名（1名欠席）

4 協議

「本県における総合的な放課後対策について」

～放課後子ども教室と放課後児童クラブとの連携について～

- 2年間の取り組みを通しての感想は、教室とクラブは別々の運営であり、気楽に情報交換ができているとは言えない。連携するためには、子どもが交流した場合の安全面の問題等様々な問題がある。
- 両事業の一体化を進めるのであれば、曜日によって変える方法がある。
- 保護者の理解は不十分であり、両事業の区別がはっきりわかっていないし、理解してもらわないといけない。
- 両事業の関係者が定例的な話し合いをする必要があるのではないか。
- 両事業の関係者でお互いに話し合いももってきた。実際には、単純に一体化というのは難しいという結論である。しかし、何とか連携を進めたいという思いからクリスマス会是一緒にするように計画している。まず一つでも何か交流をしようという姿勢も必要ではないか。
- 月曜日から金曜日までの連携は困難な面もあるので、一緒に取り組むのであれば、夏休み等の長季期休業日がいいと思う。
- 地域によっては、地理的にも遠いので連携しようとしてもできないところもある。
- ある小学校においては、放課後子ども教室は4時までで、その後はクラブに通っているというところもある。
- 両事業の関係者を集めた研修会も行っており、どのような連携ができるか協議中である。
- 両事業の一体化といってもお互いに連絡をしあって、それぞれの地域の実態に応じてやるものではないかと思う。
- 本県において、特別支援の子どもたちに対しての環境づくりはまだこれからである。例えば、両事業関係者の協議の場に専門家に入ってもらうことが一番ではないか。特別支援学校は、学校に限らず、放課後子ども教室等においても要望があれば相談に対応したいと思う。また、特別支援学校は、特別支援に係るボランティア養成講座も実施している。そこで研修をした方が、放課後子ども教室や放課後児童クラブの指導者として関わっただけであればいいのではないか。
- 地域の地理的条件や教室やクラブの成り立ちのこともあり、単なる一体化は難しい。

今できることは、障がいのある子どもへの対応等の支援体制や研修会を実施していくことではないだろうか。

- 放課後子ども教室でもなく放課後児童クラブでもなく、地元での子どもを対象とした活動をしているところもある。そのようなところとも積極的に連携が図れればと思う。
- 単なる一体化は難しい。お互いに合同の研修の機会をつくっていくことが必要ではないか。

